

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	広報区長会事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	総務部総務課					
				予算科目	2	款					1	項	3
事業番号	100			事業区分	政策的事業【任意】			□	重要事業				
評価の種別	□ 詳細評価			□ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）									
総合計画での位置づけ	基本目標		参画協働推進都市の創造						所属長名	西山	西山	西山	
	基本施策		効率的で透明性の高い行財政運営						担当責任者	赤尾	赤尾	赤尾	
根拠法令等	伊予市広報区長及び広報委員に関する規則												
関係する計画等													
事業の目的【ゴール】	対象	広報区長、広報委員											
目指すべき姿を簡潔に	意図	市民参画による行政運営を目指すため、広報業務（市政に関する施策及びその他広報事項の普及啓発）・広聴業務（市政に対する民意の伝達）を推進する											
事業内容【アクティビティ】	広報区長50人による協議会を設立し、各地区の問題事例等の協議を行うとともに、各種施策等を円滑に実施するために必要となる広報広聴業務について、統一した見解に基づく情報共有を図っている												
事業の実施方法	□ 直営			□ 一部委託		□ 全部委託		□ 指定管理		□ 補助金・負担金等		□ その他（	
連携事業及び関連事業の有無	□ あり（以下に記載すること）			□ なし									
	事業番号	事務事業の名称			事務事業の概要						【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業		
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう			□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに			□ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を			
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに			□ ゴール 8	働きがいも経済成長も			□ ゴール 14	海の豊かさを守ろう			
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を			□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう			□ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう			
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに			□ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう			□ ゴール 16	平和と公正をすべての人に			
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう			□ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを			□ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう			
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に			□ ゴール 12	つくる責任つかう責任							

前回評価の振り返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
令和 4 年度	担い手不足の原因などを含め、現在の広報区長制度を再検証し、より機動力が発揮できる制度にする必要がある	⇒ 広報区長へのアンケート、他の自治体の情報収集による現状分析	⇒ 広報区長・広報委員にアンケートを実施。また、他の自治体での運用について情報収集を行い、それらの集計結果を基に広報区長と協議・検討を実施した
最終判断			
業務改善			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳											
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		節	細節	事業費（千円）				摘 要				
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	※代表的なものを簡潔に				
予 算	当 初 予 算	19,898	19,963	19,882	19,935	例 年 支 出 の あ る も の	報償費	報償費	19,239	19,205	19,259	19,404	広報区長・広報委員報酬				
	補 正 予 算																
	前年度から繰越																
	予 備 費 等																
	計	19,898	19,963	19,882	19,935												
決 算	執 行 額	19,587	19,583	19,658			臨 時 的 な も の										
	翌年度へ繰越																
財 源 内 訳	国庫支出金																
	県 支 出 金																
	地 方 債																
	そ の 他																
	一 般 財 源	19,587	19,583	19,658	19,935												
執行率（％）		98.4%	98.1%	98.9%													
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合(％)		98.4%	98.1%	98.9%													
正規職員の人工数		0.35	0.35	0.35													
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計		348	378	399	531	一般事務費、上記で書き表せないもの					
※ 執行額＋人件費		22,315	22,301	22,421		事業費の総計		19,587	19,583	19,658	19,935						

事業活動の実績【アウトプット】

[illegible]

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R	4	目標実績	R	5	目標実績	R	6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	中期成果	地域が抱える問題を広報区長協議会定例会で協議することで、情報が共有化され、市全体として問題解決に取り組むことができる。	指標①	広報区長協議会定例会における持ち寄り議題数	議題		0			2			0			未達成 (50%未満)	
							4			4			4				
			指標②														
			指標③														

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク			A	事業遂行に係る工夫点・事業成果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である		4	S	11			～	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				サービス主体の妥当性			4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3			A	9	～	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		有効性	成果指標の達成状況		4 目標を上回って達成できた（100％以上の達成） 3 概ね達成できた（80％以上の達成） 2 やや達成がでなかった（50％以上の達成） 1 達成できなかった（50％未満の達成）	1	評価点ランク			A	事業遂行に係る課題・改善点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	4		S	11				～	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				市民等への影響			4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない	4				A	9	～	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							効率性					手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2	評価点ランク			A	課題解決に向けた具体的な方策等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	4	S	11		～		12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			受益の適正性		4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	4		A		9	～	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		担当者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	